

雑誌「蒙疆文学」（日本語版）目次（中）：自一九四二年六月至一九四四年八月

阿莉塔
九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程修了

<https://doi.org/10.15017/8493>

出版情報：九大日文．6，pp.80-86，2005-06-01．九州大学日本語文学会「九大日文」編集委員会
バージョン：
権利関係：

雑誌「蒙疆文学」

(日本語版)目次(中)

自一九四二年六月至一九四四年八月

阿莉塔

凡例

- 一、本資料紹介は、第一回(雑誌「蒙疆文学」(日本語版)解説及び目次(上))、「九大日文」(5)に引き続き、第二回として左記に明記した九冊の目次を紹介するものである。
①日本近代文学館所蔵第一巻第一号から第三巻第五号まで不揃い一四冊のうち、第二巻第五号から第三巻第五号までの未見本を除く七冊。②国立国会図書館所蔵第一巻第五号と第三巻第四号の二冊。
- 二、本資料紹介は、日本近代文学館及び国立国会図書館に所蔵する原本を元に作成した。日本国内の図書館・文学館・資料館・新刊書店・古書店や中国の一部の図書館を調査したが、現段階では右記二館にしか所蔵されていないことが判明した。尚、専門図書館・個人文庫は調査中である。
- 三、旧字体はすべて新字体に改め、仮名遣いは旧仮名遣いのままとした。

四、奥付け発行年はすべて西暦とした。

五、作品名・著者名・頁数は、目次を基準とした。ただし、本文の表記と違う場合は、その都度紹介しておくこととした。
六、*は編者の注記を表す。

第一巻第五号 一九四二年一月二〇日発行

表紙(一)(*口絵なし)

表紙(二)(*蒙疆日本人興亜協力会宣言・綱領)

目次

西北序説(一)

作歌私論(二)(*評論)

詩

秋語るらく

(*本文では作者名は「菊地重雄」と表示)

無題

迷路

短歌

草原行

生活三題

日本の母

友を見舞ひて

オルドス(*短評)

農村を往く(二)(*ルポルタージュ)

八重沢光

神林節

菊池重雄

岡野青志

後藤静穂

鈴木英一

岡野青志

神林節

福井美智子

浅地央

浅地央

浅地央

浅地央

四〇一

二九〇三三

一四〇一五

四〇

四一

三四

三四〇三五

三五

三五

二二〇二三

一六〇二一

一六〇二一

一六〇二一

戈壁に躍る克蘭ク

―「成吉思汗」撮影隊慰問行―

丹沢望 二二〇二八

俳句

麦の颯

萩原寥 二八

(*本文では作品名は「ゆはく麦の颯」と表示)

近詠

北山玄四三 二八

近詠

金子蟹石 二八

ノート抄(*随筆)

青木啓 一四〇一五

日々片々(*随筆)

林田芳人 三六〇三八

私語(*随筆)

浅井彰夫 三八〇三九

(*本文では作品名は「きご私語」と表示)

創作

北方受胎(六十五枚)

石塚喜久三 四二〇六四

表紙(三)(*編集後記、奥付)

表紙(四)

第二巻第五号 一九四三年五月一三日発行

表紙(一)(*口絵)

表紙(二)(*広告)

目次

覚書(遺稿)

追悼・横沢 宏君

美しき狷介

横沢宏 五〇二二三

小池秋羊 二四〇二六

孤独な死

青木啓 二六〇二七

横沢氏の一面を語る

高玉輝雄 二七〇二九

春愁記

赤塚欣二 三〇〇三一

中国禁煙法令変遷史(二) 于恩徳

小路嘉治訳

三二〇四一

(*本文では作者名は「于恩徳著 小路嘉治訳」と表示)

元史研究の一漢文資料に就て

武三朗

四二〇四九

オールドス(*短評)

高玉輝雄

五〇〇五一

草原(絵と文)

橋口三郎

五三〇六二

蒙古民族の口伝(五)(*聞き書き)

落合郁郎

六三

(*本文に「動物篇」と副題がある)

詩

白い雲

落合郁郎

六三

日曜の朝

南春夫

六四〇六五

水原に立ちて

後藤静穂

六六〇六七

悲愁抄(二)(*俳句)

萩原寥

六八〇七二

宣撫行詠(歌)

鈴木透

七三

創作

密輸

森江栄

七四〇八四

黄土をけづる

小柳哲夫

八五〇八九

蒙疆文学賞長編小説中間報告

(*本文では「蒙疆文学賞」長編小説審査中間報告」と表示)

創作月評

森江栄

七二〇八四

編輯後記

赤塚欣二

九〇

表紙(三)(*広告)

表紙(四) (*広告)

第二卷第六号 一九四三年八月一日発行

表紙(一) (*口絵)

表紙(二) (*広告)

目次

散りゆく心(一周年の言葉)

(*本文では開始頁数は「二二」と表示)

国民詩に就て(*評論)

詩

虹

祭火

味爽

早

人と作品(石塚喜久三氏)(*同人批評)

独り合点(*随筆)

鬼につかれたラマ僧(*随筆)

オールドス(*短評)

歌

春日断唱

(*本文では「高野多希志」と表示)

雑詠

悲愁抄(三)(*俳句)

(*本文では開始頁数は「四二」と表示)

塞北宣撫行(一)(*紀行文)

蒙古民族の口伝(二)(*聞き書き)

創作

流浪

月あかり

山麓

作品目録(*本誌昭和一七年六月〜昭和一八年五月)

編輯後記

扉(*扉絵)

表紙(三)(*広告)

表紙(四)(*広告)

第二卷第七号 一九四三年九月一日発行

表紙(一)(*口絵)

表紙(二)(*広告)

目次

第一回蒙疆文化人決戦大会記録

創作

蘇へる街(二〇〇枚)

重心

人と作品(青木啓氏)(*同人批評)

(*本文では副題は「青木啓論」と表示)

丹沢望

橋口三郎

藤沢明

田中緑

仲田六郎

一〇七

一〇七

一〇八

四六〜五五

五六〜六二

六三〜八五

八六〜九三

九四〜一〇六

一〇七

一〇八

落合郁郎 一六〜一七

篠津原一郎 一八〜一九

南春夫 二〇〜二一

柘榴研太郎 二二〜二三

青木啓 二六〜三〇

沼田英一 三一〜三五

小柳哲夫 三六〜四〇

二四〜二五

高野たけし 四一

迎山恵生 四一

萩原寥 四一〜四五

小池秋羊 六〜四六

森江栄 四七〜六七

赤塚欣二 七四〜七七

芥川賞誌上祝賀会

象をはかる

石塚喜久三

七〇

当選を祝して

落合郁郎

七〇〜七一

草原の芸術を拓け

小池秋羊

七一〜七二

懇話会の喜び

青木啓

七二〜七三

芥川賞来る日の感想

赤塚欣二

七三

オルドス（*短評）

橋口三郎

六八〜六九

河童の話（*聞き書き）

丹沢望

八五〜八七

塞北宣撫行（二）（*紀行文）

落合郁郎

七八〜七九

詩

南春夫

八〇〜八二

誕生

鈴木弓

八三

出産

志賀智恵

八四

朝

落合郁郎

六七

寂愁

霧涌く峯（小説）

森江栄

二〜二〇

（*本文では作品名は「寂愁」と表示）

季節の唄（小説）

藤島逸枝

二一〜四五

投稿詩に就て（*短評）

桑島（小説）

吾妻せん

四六〜五六

扉（*扉絵）

第二回蒙古古文学賞作品募集

明るい街（詩）

五七

表紙（三）（*編輯後記、奥付）

しづくのあしをと（詩）

落合郁郎

六〇〜六一

表紙（四）（*広告）

人間ユヂエヌ、ダビに就て（詩）

南春夫

六二〜六三

表紙（一）（*口絵）

秋（詩）

北川正明

六四〜六六

表紙（二）（*広告）

人と作品（小池秋羊論）（*同人批評）

鈴木弓

六八〜七一

表紙（一）（*口絵）

（*本文では副題は「小池秋羊論」と表示）

オルドス（*短評）

五八〜五九

表紙（二）（*広告）

一番とピリと中程（隨筆）

高山和夫

七六〜七八

表紙（一）（*口絵）

空に征く（短歌）

大江新

七二

表紙（二）（*広告）

吾が家（短歌）

音尾秀夫

七三

表紙（一）（*口絵）

「望楼」その後（短歌）

皆島金吾

七四

表紙（二）（*広告）

（*本文では「望楼」その後、「皆嶋金吾」と表示）

粟の穂（短歌）

山口智恵

七五

目次

霧涌く峯（小説）

森江栄

二〜二〇

季節の唄（小説）

藤島逸枝

二一〜四五

桑島（小説）

吾妻せん

四六〜五六

第二回蒙古古文学賞作品募集

明るい街（詩）

五七

しづくのあしをと（詩）

落合郁郎

六〇〜六一

人間ユヂエヌ、ダビに就て（詩）

南春夫

六二〜六三

秋（詩）

北川正明

六四〜六六

人と作品（小池秋羊論）（*同人批評）

鈴木弓

六八〜七一

（*本文では副題は「小池秋羊論」と表示）

森江栄

六八〜七一

オルドス（*短評）

高山和夫

五八〜五九

一番とピリと中程（隨筆）

大江新

七六〜七八

空に征く（短歌）

音尾秀夫

七二

吾が家（短歌）

皆島金吾

七三

「望楼」その後（短歌）

山口智恵

七四

（*本文では「望楼」その後、「皆嶋金吾」と表示）

粟の穂（短歌）

七五

老ます父母と懐ふ（長歌）

高野たけし

七五

シリンドル紀行（*紀行文）

小池秋羊

七九〜八七

（*本文では作品名は「シリンドル紀行（一）」と表示）

日本紀行（上）（*紀行文）

王承琰

八八〜一〇二

（*本文では副題は「大東亜文学者決戦大会に出席して」、著者名は「王承琰」元、小池秋羊訳）と表示）

王承琰

八八〜一〇二

（*本文では副題は「大東亜文学者決戦大会に出席して」、著者名は「王承琰」元、小池秋羊訳）と表示）

王承琰

八八〜一〇二

（*本文では副題は「大東亜文学者決戦大会に出席して」、著者名は「王承琰」元、小池秋羊訳）と表示）

王承琰

八八〜一〇二

（*本文では副題は「大東亜文学者決戦大会に出席して」、著者名は「王承琰」元、小池秋羊訳）と表示）

王承琰

八八〜一〇二

（*本文では副題は「大東亜文学者決戦大会に出席して」、著者名は「王承琰」元、小池秋羊訳）と表示）

王承琰

八八〜一〇二

（*本文では副題は「大東亜文学者決戦大会に出席して」、著者名は「王承琰」元、小池秋羊訳）と表示）

王承琰

八八〜一〇二

（*本文では副題は「大東亜文学者決戦大会に出席して」、著者名は「王承琰」元、小池秋羊訳）と表示）

王承琰

八八〜一〇二

（*本文では副題は「大東亜文学者決戦大会に出席して」、著者名は「王承琰」元、小池秋羊訳）と表示）

王承琰

八八〜一〇二

扉（*扉絵）

表紙（三）（*編輯後記、奥付）

表紙（四）（*広告）

第二卷第九号 一九四三年二月二十五日発行

表紙（二）（*口絵）

表紙（一）（*広告）

短文「第二回蒙古文学賞作品募集」

目次

同人従軍特輯

報道隊の日記

（*本文に「冀西前線にて」と副題がある）

従軍記

（*本文では作品名は「従軍記（一）——冀西前線〇〇にて」と表示）

朝の庭（詩）

野菜畠（詩）

藍の抒情（詩）

（*本文ではタイトルは「藍の抒情」、副題は「我が愛せし支那文学の糟粕」と表示）

よ」と表示）

オルドス（*短評）

人と作品（落合郁郎論）（*同人批評） 高野たけし

（*本文では副題は「「落合郁郎論」と表示）

秋日吟（短歌）

（*本文では作者名は「高野たけし」と表示）

赤城に夫を送りて（短歌）

雑詠（短歌）

中将姫と氷や（隨筆）

（*本文では作品名は「中将姫と氷屋」と表示）

シリントール紀行（二）（*紀行文）

閏月（小説）

（*本文では作品名は「閏月」と表示）

泥の跡（小説）

編輯後記

扉（*扉絵なし）

表紙（三）（*広告）

表紙（四）（*広告）

高野たけし

山口智恵

音尾秀夫

高山和夫

小池秋羊

小山内松治

牛村義雄

小池秋羊

青木啓

青木啓

青木啓

青木啓

青木啓

青木啓

第三卷第一・二号 一九四四年二月一五日発行

表紙（二）（*口絵なし）

表紙（一）（*広告）

巻頭言

目次

山のなかの中隊（小説）

（*本文に「U中尉とその中隊に捧ぐ」と副題がある）

文学者大会への反省

三二

三三

三四

三八〇

四一〇

四一〇

四一〇

四一〇

四一〇

四一〇

四一〇

四一〇

四一〇

四一〇

四一〇

四一〇

四一〇

四一〇

四一〇

四一〇

四一〇

四一〇

四一〇

四一〇

四一〇

四一〇

四一〇

文芸時評

創作精神の再吟味

小山内松治

二〇五

シリンドル紀行(三)(*紀行文)

小池秋羊

九〇一五

塞北宣撫行(三)(*紀行文)

丹沢望

二五〇三四

居庸雜感(*紀行文)

原八郎

三八〇四六

オルドス(*短評)

山口智恵

二二〇二四

秋ひかり(短歌)

山口智恵

三五

隨筆

鹿さんと文さんと賢ちやん

高山和夫

三六〇三七

詩

朔風

緒方禾

一六〇一七

まつしぐらに青年は駆けて行つた

北川正明

一八〇一九

友

南春夫

二〇〇二一

(*本文に「松井敏雄君へ」と副題がある)

落合郁郎

二二

決意

落合郁郎

二二

表紙(三)(*編輯後記、奥付)

表紙(四)(*広告)

第三卷第三号 一九四四年三月発行(*未見)

第三卷第四号 一九四四年六月一五日発行

表紙(一)

表紙(二)

扉(*扉絵)

目次

三年振り(小説)

池田克二

一〇一八

砂塵(小説)

小山内松治

一九〇二七

隔離病棟(小説)

丘土筆

二八〇六八

(*本文に「此の一篇を不幸コレラに斃れし幾多の戦友に獻す」と副題がある)

或る女(小説)

関仙吉

六九〇七八

オルドス(*短評)

南春夫

七九〇八〇

下関鎮の川(詩)

南春夫

八一〇八二

尿その他(俳句)

萩原寥

八三

(*本文では作品名は「尿」,「春日」と表示)

蒙古は啓く

佐藤勝

八九

(*本文では作品名は「蒙古は啓く」と表示)

街の批評(隨筆)

大川原大

八四〇八六

畏友夫妻(隨筆)

石塚喜久三

八七〇八九

鉄鉾の町(隨筆)

郡好夫

九〇〇九二

張家口懐旧談(隨筆)

林虎治

九三〇九七

編輯後記

小山内松治

表紙(三)(*広告)

表紙(四)

第三卷第五号 一九四四年八月一五日発行

表紙(一) (*口絵なし)

表紙(二) (*短文「蒙古政府声明」)

扉 (*扉絵)

目次

花の海(百八十枚)

石塚喜久三 一〇七二

(*本文に「此の一篇は大東亜戦争が始まる数年前迄の蒙古草原の一断面の縮図である。」と副題がある)

蒙古文学賞、詩、入選発表

選後寸言 (*選評)

三好達治 七三

(*本文では作品名は「後寸」と表示)

選後寸評 (*選評)

大木惇夫 七四

気のついた事二つ三つ (*短評)

尾崎喜八 七五

当選詩

ともしび (*第一位)

緒方禾 七六

塞外に病む (*第二位)

北川正明 七七〇七八

吾子に与ふる歌 (*第三位)

上杉一策 七八〇七九

オルドス (*短評)

八〇〇八一

出発前後 (*紀行文)

小山内松治 八三〇八五

「蒙疆総力」創刊号 (*短文)

七二

図書館開設並に献本運動趣意書

八二

土屋文明先生等を困んで (*短文)

七九

表紙(三) (*編輯後記、奥付)
表紙(四) (*広告)

「蒙疆文学」第二卷第五号 表紙



(九州大学大学院博士後期課程修了)